

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	桑名市家庭教育支援チーム (呼称: 子ども応援ネットワーク in くわな(略称:CCN))
②活動拠点	桑名市総合福祉会館、他
③活動範囲	桑名市内全域
④組織体制	<u>14</u> 人 託児や子育てひろばの開催など子育てを支援する NPO(1)と団体(1)、ガールスカウト(1)、こども食堂を開催する NPO(2)、障がいのある子どもの療育 NPO(1)、人権啓発、女性と子どもへの暴力防止教育 NPO(2)、里親会員(1)、こどもアドボケイトなど(3)、学習支援 NPO(1)、スクールカウンセラー(1)、兼務として民生児童児童委員(1)、主任児童委員(1)、人権擁護委員(2)、社会教育委員(1)
⑤活動開始年度	<u>2010</u> 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 桑名市北寺町61(ねっとわーくわっこ内) (TEL)0594-21-0501 (E-mail)kiramama22@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(フードパントリー)
---------------------	--

<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>①定例会による各参加者の情報交換 子育て及び教育相談等を実施し、その内容やニーズを共有し各 NPO の活動につなげていく。また、各 NPO のイベント等の参加を呼びかけ、子育て及び家庭教育の大切さを学んでいただく。</p> <p>②保護者支援(家庭教育支援)に向けた取り組み CCN さんか NPO の家庭教育支援に関わる主な活動を次に挙げます。</p> <p>〈NPO 法人ネットワークくわっこ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児と保護者対象の広場事業(桑名市委託事業) 2. ウェルカムベビープログラムの実施 3. 託児事業 * 保護者の学びの場やつながる場などを設け、子どもの豊かな育ちにつながる家庭での関わり(家庭教育)を充実させていく。 <p>〈エンパワメントみえ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者向け子育て講座及び支援者講座講師(三重県少子化対策室) 2. 子育て応援ボランティア養成講座講師(桑名市子ども未来課) 3. ファミリーサポート養成講座講師(東員町) 4. 母子自立生活支援施設・母親プログラムファシリテーター <p>〈CAP みえ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校、家庭、地域で取り組む、「子どもへの暴力防止プログラム」ワークショップ実施(三重県児童相談センター・桑名市・津市・伊勢市委託) 2. 母子自立生活支援施設・母子へのプログラム実施 * 暴力のない安心な地域社会をめざしていく。 <p>〈NPO 法人太陽の家〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども食堂 2. シングルマザーのミーティング 3. フードパントリー <p>③子どもの豊かな育ちに向けた取り組み ・子ども応援マップの作成と配付 隔年で4回配付 子どもが自身の気持ちに注目し、表現できるよう支援するリーフレット</p>

	<p>学校を通しての配付。そのため、配付時に教師がミニワークショップができるようシナリオ作成。保護者にも説明文書を配付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み 1 日学校ごっこ 地域の人を先生に国語・理科等の教科を楽しく学ぶ ・地域の拠点を利用した「子どもの居場所」開催(不定期ほぼ月 1 回)
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間のネットワークで各団体の専門性を活かした支援の輪を広げている。 <ul style="list-style-type: none"> 例①こども食堂に子どもの声を聴く子どもアドボカシーコーナーを設置 例②各団体のイベント開催にあたって、サポーターが増えた 例③一つの課題(相談)について情報交換しながら、より個々にふさわしい情報提供ができています ・地域のニーズが相談の形で入るようになった。 <ul style="list-style-type: none"> 例①1 校区という小さなコミュニティでの居場所を設置
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()